

恵那農林事務所農業普及課の普及活動報告 令和5年6月

恵那の農業・農村を支える人材育成

■土地利用型作物・スマート農業 水田での環境にやさしいスマート農業技術等研修を開催

恵那農林事務所は、県庁スマート農業推進室などと連携し、6月6日、中津川市福岡の中山間農業研究所中津川支所及び農業者ほ場（協力：（農）はちたか）で、「水田での環境にやさしいスマート農業技術等研修」を開催した。恵那地域を中心に農業者や指導支援機関（農機メーカー・JA・市町村・県など）から56名が参加した。

研修では、（株）キセキ関西中部から4つのスマート農機（搭載された土壌センサで土中の肥沃度を検知しながら基肥量を調整制御しながら田植えを行う可変施肥田植機、水流で土を巻き上げて水田を濁らせることで雑草が光合成し難い環境を作るアイガモロボット、急傾斜の法面でも作業ができるコンパクトなリモコン式草刈機、遠隔で水位監視と給水ゲートの開閉制御ができる水管理システム）の技術概要や期待される効果、機械・機器の操作方法などが、座学と実演により紹介された。



【農業者ほ場で実演が行われた可変施肥田植機(左)、アイガモロボット(中)、リモコン式草刈機(右)】

農業普及課からは、恵那地域土地利用型スマート農業推進会議構成機関（JAひがしみの、中津川市、恵那市、中山間農業研究所中津川支所）の製作協力のもと、この3月に発行した啓発リーフレット『恵那地域版「土地利用型スマート農業技術」導入判断ポイント』を使って、小区画で傾斜地に点在する水田が多い中山間の恵那地域ならではの地域性を考慮した導入検討上の留意点の説明、県の各種支援策（無料機械・機器貸出サービス、技術学習 YouTube 動画サイト、導入補助事業など）を紹介した。



【農業普及課からは啓発リーフレットを紹介】

参加した農業者からは、まだ当地に導入実績のない水管理システムや可変施肥田植機などの実演に積極的な質問が出されるなど、熱心に取り組まれていた。

今後も農業普及課では、開発・販売が進む様々なスマート農業技術が、適切に導入判断された上で現地に普及するよう指導支援を行っていく。

（地域支援係）